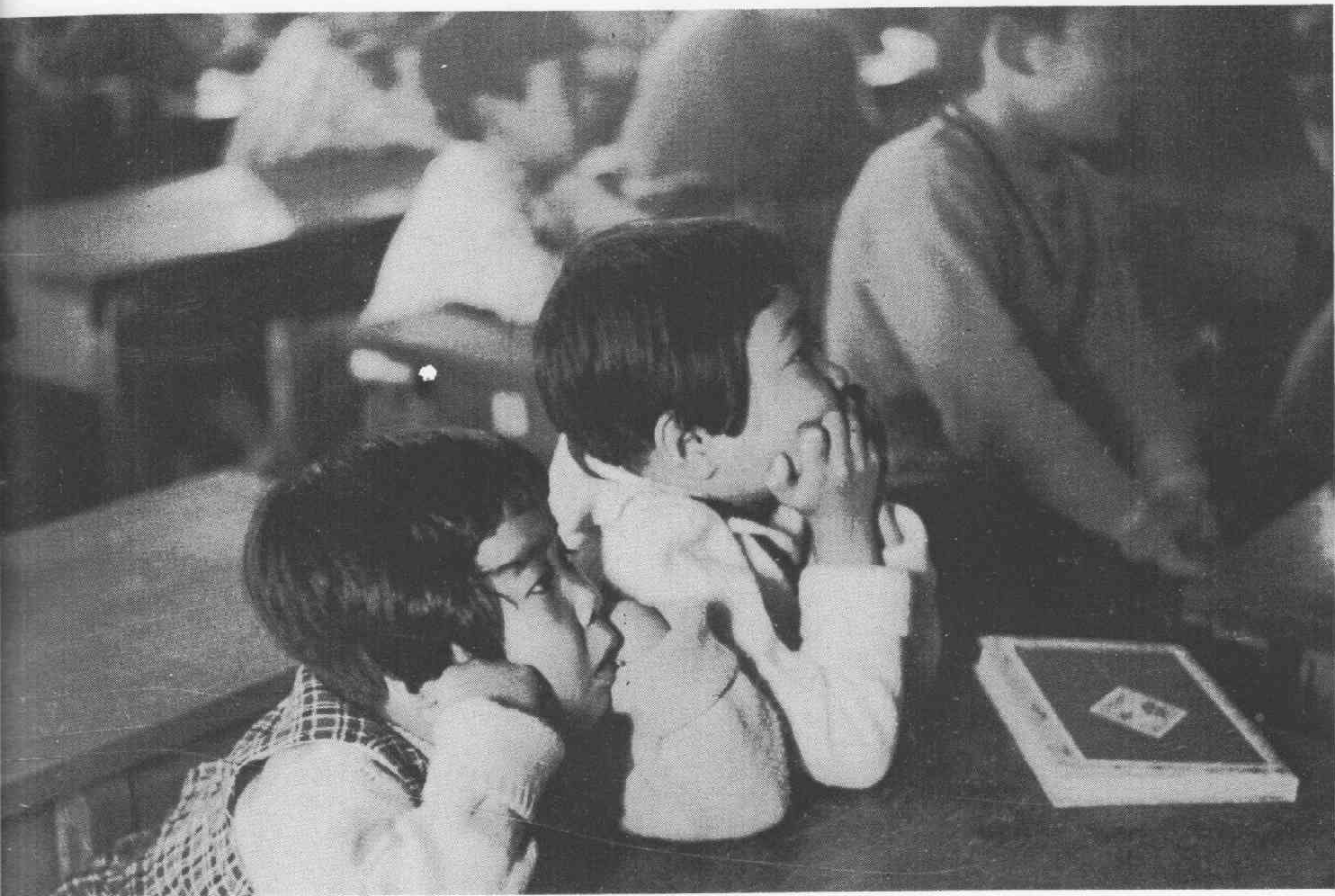




まなざし① 入学式、新しい学用品、はじめての学校
(37年) 先生を視るまなざし……



まなざし②
(37年) 光を凝縮する眼、透視する眼、
貧富も階級もない王国の眼、
誰もが、どこかで失ってしまう眼、……眼



小さな保護者 昼のあいだ自宅には誰もいない
(37年) 幼児を連れて、毎日登校する

作 文

ぼくは、こうゆう学校があるとよいのになあ、といつも思っていました。学校に行きたかったが熊本の学校から転校届をもらわなくてはならないので、ほうってあった。1月ごろけいさつのおばさんがきて、給食や、くつもあげますからといわれ、いこうか、いこまいかと考えていた。おとうさんが、「いきなさい」と、いってくれた。入学の日、けんぼうといったら、おんがくたいがむかえてくれた。うれしかった。 (開園当時中1年・男子)



人形遊び
(37年)

パイプ校舎横の校庭で1年生の学習
むしろ敷きの光景に悲哀を感じてはならない
それがあたりまえであった時代のこどもの世界

作 文

2月1日にあいりん学園に入学しました。わたくしたちは、いっしょうけんめいべんきょうをしています。わたくしは、いままで2年生までしか学校へは行っていませんでした。わたくしは学校へかよえるので、とてもうれしくてたまりません。でも、わたくしのいえは、おとうさんがびょうきです。おばあちゃんも手がおれています。だから、わたくしは早くかえって、いえの手つだいをしなければなりません。でも、学校へくるのは、とてもうれしくてたまりません。

(開園当時6年・女子)



開館式
(37年)

8月8日 大阪市立愛隣会館落成
あいりん学園は同会館内に移転し、翌年
4月1日、あいりん小・中学校として独立



私がこの学校に入ったのは、小学校二年の一学期の終りごろでした。他の学校には行ったことのない私は、初めのうちは、なんとも考えていませんでした。でも、大きくなるにつれて、よその学校とくらべると、はずかしく思うようになりました。

運動場がないので、体力テストの時、他の学校をかりてしていると、その学校の人達がじっとめずらしそうに見る目“私達の運動場を使って……”と、というような目。

屋上で体育をすると、せまい上にコンクリートなので、すりむいたり、私の組の中で歯をおったことさえありました。冬は寒いし、風が強いし、夏は暑くてやる気がなくなります。

お手洗いだって、男と女と同じですから、こまることも多いのです。男の人が入っていると、どうしても入りにくいのです。

もう三年生。まもなく卒業していきますが、後に入ってくる人達が、私と同じようにこまることのないようにしてほしいと思います。

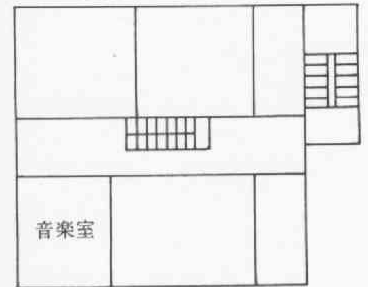
(中学3年K・M)



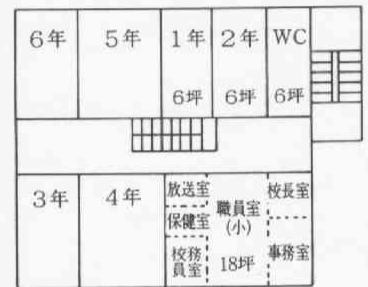
あいりん会館全景



3階 音楽室 (小・中)



4階 小学校



5階 中学校



屋上







間仕切り教室 愛隣会館の4・5階に間借りしていた頃
雑居生活。しかし荷を背負ったこどもたちには長い道程だった
人と人が出会ってやせた土壤に種が落ちる
幸福の顔はひとつだが、不幸の顔はさまざまである



キャンプ 招かれて熊取方面へキャンプに行く
(38年)



卒業生を送る会
(38年)

喜びと悲しみが同居する日
小学校・中学校とふたつの卒業式を重ねて社会へ巣立つこどもたち
多くのこどもが挫折してあいりん地区へ戻ってくる
悲しみがまさる日かもしれない



テレビ出演 5月11日母の日、関西テレビに出演
(38年) 良くも悪くも社会の注目を浴びていた時代
素朴であることがながしかの力を持っていた時代
いまは……黙殺の時代



キャラバン隊来る
(38年)

吉本興業のキャラバン隊が慰問
なつかしい顔が見える



屋上の積雪
(39年)

大阪では珍しい銀世界
愛隣会館の屋上で雪遊び、運動場のない時代
こどもは遊びを発見する天才だ



海水浴・鼓が浦
(40年)